

学校だより

7月号

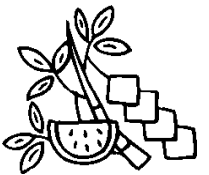
はやぶさ式思考法

校長 加納 一好

港区立白金小学校

発行人 加納 一好

平成三十年六月二十九日



プールからは子供たちの元気な声が聞こえてきます。まず、PTA夏祭りの御礼です。PTAをはじめ児童館、消防署、消防団など地域の皆様により、盛大に実施されました。子供たちはいつもと違う学校に大喜びでした。計画から実施まで本当にありがとうございました。

運動会のアンケートもありがとうございました。すべて読ませていただきました。素晴らしい運動会でしたという感想とともにご意見もいただきました。昼食については、「家族で」、「現状のまま」、「給食がよい」など、様々な意見がありました。リュックサックでの登校などとも引き続き検討してまいります。

さて、関東甲信越地区の小学校長が集まる研究協議会でJAXAシニアフェローの川口淳一郎教授の講演を聞く機会がありました。テーマは「はやぶさ式思考法」です。よいお話でしたのでご紹介いたします。ちなみに、映画「はやぶさ遙かなる帰還」の川口教授の役は渡辺謙さんです。

①コンビニでジュースを買った。店員は私のことを知っているようで、ジュースを受け取りながら言った。「砂入っているといいですね。」(笑)

②日本には注意書きが多い。日本人はルールを大切にす。しかし、ルールに従うだけでは創造はできない。チェックシートから離れることが大切である。減点法から創造は生まれない。

③教育はコピー技術を教えることではない。新たなページを開かなければ、より広い世界は見えてこない。今、見えていくものは、皆過去のものである。教科書や論文にも過去のことしか書いていない。

④夢をもち、信じなければ何もできない。自信は他から与えられるものではない。はやぶさプロジェクトが成功した理由は「こうすればできる」という糸川先生から受け継がれてきた研究所の文化があったからである。やれる理由を見付けて挑戦することで、成果は得られる。本校の子供たちにもチャレンジ精神と創造力を身に付けさせていきたいと思えます。

七月もどうぞよろしくお願いたします。

高松アカデミー

福田 和寿美

港区では、今年度もカリキュラムマネジメントを通じた幼・小・中一貫教育を推進しています。

高松アカデミーは、近隣の高輪幼稚園・白金台幼稚園・高輪台小学校・白金小学校・高松中学校の二園三校で構成されています。幼・小中の「豊かな学び」の充実を目指して連携を強化し、「MINATOカリキュラム」「みなとキッズなび」を基に十二年間を見通した実践を行います。学校行事等を通しての交流も、高松中学校への授業・部活動体験(六年)、学芸会練習見学(園児)、小学校授業参加・給食交流(園児・一年)、秋祭り交流(園児・一年・二年)など、年間計画に位置付けられ、定着してきました。本年度の第一回目の研究授業が高松中学校で行われました。

○「徳」「知」「体」を育む学びの推進

○生き抜く力を育む学びの推進

○アカデミーが目指す幼児・児童・生徒像の三つを視点にし、次の四つの視点で協議を行いました。

・ 道徳教育の推進

・ 健康な体づくり

・ 就学前教育の充実

・ 主体的・対話的で深い学びの実現

幼稚園で培われてきた力を小学校でどのように生かす、どのように中学校につないでいけば、積み上げることができているのか、引き続き研究を深めていきます。来年度より港区立小中学校学校案内にも、推進内容を掲載する予定となっております。

「主体的・対話的で深い学びの授業づくり

～発展的活動を通して～

研究推進委員長 白石 裕彦

昨年度、「学びに向かう力を育てる授業づくり」主体的・対話的で深い学びを通して」を主題として、研究活動を進めてまいりました。その成果として、より発展的な、チャレンジングな学習を行うことが、児童の学習意欲を高めることにつながる事が分かりました。これを踏まえ、今年度は発展的な学習を手立ての中心としながら、「主体的・対話的で深い学びの授業づくり」発展的活動を通して」を目指してまいります。こちらについては、特別の教科道徳の研修や特別活動の研究授業(一年生)などを行ってまいります。

また、本校は今年度から二年間、東京都のプログラミング教育推進校の指定を受けました。プログラミング教育は算数や理科といった既存の教科等の中で扱うことが基本となっています。これを教科の発展的な学習と位置付け、「主体的・対話的で深い学び」となるようなプログラミング教育の授業のあり方も併せて研究していきます。既に「プログラミング教育」については、四月、六月に教員研修会を行っています。Scratchというマサチューセッツ工科大学メディアラボが開発したソフトウェアをベースに、今後どのような形で指導をしていくか検討し、二学期に六年生、四年生、三学期に五年生が研究授業をしていく予定です。

今年度も、本校の研究活動にご注目いただければ幸いです。よろしくお願いたします。